

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150180042		
法人名	医療法人長晴会		
事業所名	グループホームきりん		
所在地	佐賀県佐賀市金立町大字薬師丸1274-1		
自己評価作成日	令和2年10月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年11月26日	外部評価確定日	令和2年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・作業療法士を常勤で配置しており、入居者のリハビリ評価を行い生活リハビリへのアドバイスを行っている。 ・24時間対応で主治医、看護師を連携を図りながら、入居者の健康に留意している。また認知症の周辺症状 についても精神科の医師に相談しながら対応している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>3ユニットのグループホーム「きりん」は「いつまでも自分らしく暮らしていただく」ことを願って、地域とのつながりがある新しい家で健康で明るい生活が送れるようにと、利用者が主人公のサービスを提供している。今年は「すべての職員が利用者一人ひとりの人格を尊重した声かけが常にできること」を重点目標にしている。 一日の生活の中に、生花、習字、カラオケ、計算問題、おやつづくり、レクリエーション、体操、散歩や外気浴、忘年会、隣接の老健施設利用者との交流などが、利用者の希望や状況を考慮しながら取り入れられている。また、季節を感じたり、近所の方との出会いもあるホーム周辺の散歩や、近くの観音様へのお詣り、三社詣り、公園や花の名所までの外出などは利用者の楽しみでもある。今年は新型コロナウイルス感染防止のために万全を期している。家族との面会をはじめ、外出、外部者との接触などの行動制限があり、それに代わるものを工夫している。職員自体も感染防止のための諸制限があり、それを厳守している。 母体の法人が医療機関でもあり、院長回診、訪問診察、歯科衛生士による口腔ケア等、その手厚い健康管理には利用者や家族も安心感を持っている。また「終の棲家」としての家族からの要望にも真摯に応えている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念を職員の目に付く所、タイムカードの所や掲示板等に掲示し、日々確認出来るように実践している	ホームの理念を職員の目に付く所、タイムカードの所や掲示板等に掲示し、日々確認出来るように実践している	ホームの理念を職員の目に付く所、タイムカードの所や掲示板等に掲示し、日々確認出来るように実践している	法人全体の理念を踏まえて、事業所独自の理念「いつまでも自分らしく」を創り出している。理念実現のために、全職員で今年度の達成目標を協議している。常時の理念確認で、理念実現への意識が高まり、支援に結び付いている。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には出来るだけ参加し、また法人の行事へ地域の方に参加してもらう。地域の傾聴ボランティアの方には定期的に来て頂き交流を図っているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため控えている	地域の行事には出来るだけ参加し、また法人の行事へ地域の方に参加してもらう。地域の傾聴ボランティアの方には定期的に来て頂き交流を図っているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため控えている	地域の行事には出来るだけ参加し、また法人の行事へ地域の方に参加してもらう。地域の傾聴ボランティアの方には定期的に来て頂き交流を図っているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため控えている	地域との関わりを重視して、地域の行事には積極的に参加している。これまで地域の清掃作業、夏祭り、地域家族会、認知症カフェ等への参加などはその例であるが、本年度は新型コロナウイルス感染防止のために実現できていない。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人事業所の行事開催時には地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方かけの仕方を指導している	法人事業所の行事開催時には地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方かけの仕方を指導している	法人事業所の行事開催時には地域の方にも参加して頂き認知症への介護の仕方かけの仕方を指導している	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回行い、その結果は報告書を作成しているまたミーティングでも報告しサービス向上に努めている。今年は新型コロナウイルス感染防止のため行えていないが事業内容を書面で郵送し、ご意見を返信してもらう事で取り組んでいる	運営推進会議は2か月に1回行い、その結果は報告書を作成しているまたミーティングでも報告しサービス向上に努めている。今年は新型コロナウイルス感染防止のため行えていないが事業内容を書面で郵送し、ご意見を返信してもらう事で取り組んでいる	運営推進会議は2か月に1回行い、その結果は報告書を作成しているまたミーティングでも報告しサービス向上に努めている。今年は新型コロナウイルス感染防止のため行えていないが事業内容を書面で郵送し、ご意見を返信してもらう事で取り組んでいる	3ユニット合同での年6回の開催である。子ども達との交流目的の農村公園での花植え、観音様祭りへの参加、ドライブ場所の情報、事業所から自治会への要望など多様な意見が交換され、運営にも反映されている。本年度は止むを得ず中止になっているが、会議に代わる工夫が試みられている。

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議、認知症カフェへ積極参加しているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため行えていません	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議、認知症カフェへ積極参加しているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため行えていません	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議、認知症カフェへ積極参加しているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため行えていません	中部広域福祉事務所に直接出かけたり、電話でも度々事業所の情報を提供したり、福祉関係の情報を交換する等、協力関係ができており、密接な連携が保たれている。「おたっしや本舗」主催の諸行事への参加や、他事業所との交換会は出来ていないが、再開を待っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会が設置されており、施設内外の勉強会にも参加している。身体拘束をしている方はいません。入居時に家族様にも説明し、拘束をしない事への理解を得るようにしている。	身体拘束委員会が設置されており、施設内外の勉強会にも参加している。身体拘束をしている方はいません。入居時に家族様にも説明し、拘束をしない事への理解を得るようにしている。	身体拘束委員会が設置されており、施設内外の勉強会にも参加している。身体拘束をしている方はいません。入居時に家族様にも説明し、拘束をしない事への理解を得るようにしている。	職員は身体拘束の無い支援への認識が高く、これまで身体拘束の事例は無い。普段であれば玄関も開放している。言葉による拘束も無いように、本年度の目標達成の重点事項として努力を重ねている。離床センサーやモニター使用については、家族の理解と了承を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の勉強会に参加、また身体拘束委員会からの情報を共有して防止に努めている。	法人内の勉強会に参加、また身体拘束委員会からの情報を共有して防止に努めている。	法人内の勉強会に参加、また身体拘束委員会からの情報を共有して防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内では毎年勉強会が行われており参加している。理解を深め、日々活用出来るよう努めている。	法人内では毎年勉強会が行われており参加している。理解を深め、日々活用出来るよう努めている。	法人内では毎年勉強会が行われており参加している。理解を深め、日々活用出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行い、疑問点がある時にはいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得できるように努めている	契約時に説明を行い、疑問点がある時にはいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得できるように努めている	契約時に説明を行い、疑問点がある時にはいつでも尋ねてもらえるようにし、解約時にも納得できるように努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置。運営推進委員会の時家族の意見を聞く。毎月の誕生会、その後に家族会を開催し意見を聞く。サービス担当者会議の時に意見や要望を聞き運営に活かせるようにしている。	意見箱の設置。運営推進委員会の時家族の意見を聞く。毎月の誕生会、その後に家族会を開催し意見を聞く。サービス担当者会議の時に意見や要望を聞き運営に活かせるようにしている。	意見箱の設置。運営推進委員会の時家族の意見を聞く。毎月の誕生会、その後に家族会を開催し意見を聞く。サービス担当者会議の時に意見や要望を聞き運営に活かせるようにしている。	様々な機会を捉えて利用者や家族の要望や意見を聴いている。また、その真意を察して運営や支援に活かしている。介護士さんに話しかけやすい。何時も笑顔で挨拶や話を聴いてくれる。電話で日常の様子を話してくれる等の家族の声もある。家族との面会中止の期間でも信頼関係が保たれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回、問題が生じた場合はその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署集まり、意見交換を行う会議が開かれている。	月に1回、問題が生じた場合はその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署集まり、意見交換を行う会議が開かれている。	月に1回、問題が生じた場合はその都度ミーティングを行っている。法人全体でも各部署集まり、意見交換を行う会議が開かれている。	遠慮なくお互いに意見を意見を交わすことができる職員間関係で、意思疎通ができている。月に1回の会議には、上司や師長も出席している。感染症防止対策、外出を伴わない行事の工夫、備品の要望、その他運営に活かされている例は多い。ヒヤリハットが生じた場合等、随時話し合う機会も多い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤が出来るか等の基準を設け自己評価も行った上で管理者が評価し給与に反映されている	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤が出来るか等の基準を設け自己評価も行った上で管理者が評価し給与に反映されている	勉強会への参加状況、ケアプランの作成、夜勤が出来るか等の基準を設け自己評価も行った上で管理者が評価し給与に反映されている		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の勉強会や研修会に参加できるよう配慮している。	法人内外の勉強会や研修会に参加できるよう配慮している。	法人内外の勉強会や研修会に参加できるよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議、交流会に参加している。	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議、交流会に参加している。	おたっしや本舗主催の勉強会やケア会議、交流会に参加している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い、不安解消の要望に対応できるよう努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い、不安解消の要望に対応できるよう努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い、不安解消の要望に対応できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い、不安解消の要望に対応できるよう努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い、不安解消の要望に対応できるよう努めている。	入居前に本人や家族に会い情報収集を行ったり医療機関より情報提供して頂き、ケアプランの作成を行っている。入居当日にケア会議を行い、不安解消の要望に対応できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、 本人と家族等が「その時」まず必要と している支援を見極め、他のサービ ス利用も含めた対応に努めている	本人様の状態、希望、家族 様の希望で他の施設たサー ビスがよいと思われた場合 は施設の特徴の説明を行っ ている。	本人様の状態、希望、家族 様の希望で他の施設たサー ビスがよいと思われた場合 は施設の特徴の説明を行っ ている。	本人様の状態、希望、家族 様の希望で他の施設たサー ビスがよいと思われた場合 は施設の特徴の説明を行っ ている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立 場に置かず、暮らしを共にする者同 士の関係を築いている	生活歴やその方の人生歴を 理解し、尊重する立場で言 動に注意し関係作りをしてい る	生活歴やその方の人生歴を 理解し、尊重する立場で言 動に注意し関係作りをしてい る	生活歴やその方の人生歴を 理解し、尊重する立場で言 動に注意し関係作りをしてい る		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立 場に置かず、本人と家族の絆を大切 にしなが、共に本人を支えていく関 係を築いている	家族様の希望は常にケアプ ランに反映させている。面会 に来られた時は必ずお声か けし、本人様のご様子をお 話している。	家族様の希望は常にケアプ ランに反映させている。面会 に来られた時は必ずお声か けし、本人様のご様子をお 話している。	家族様の希望は常にケアプ ランに反映させている。面会 に来られた時は必ずお声か けし、本人様のご様子をお 話している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染 みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	併設の老健や通所リハビリ で馴染みのあった方、ご近 所の方等交流がもてるよう していたが、現在は感染対策 のため行っていない。アルバ ムを持ってきていただいた り、電話使用したりしている。 こちらから、はがきやお手紙 を出す事を計画している。	併設の老健や通所リハビリ で馴染みのあった方、ご近 所の方等交流がもてるよう していたが、現在は感染対策 のため行っていない。アルバ ムを持ってきていただいた り、電話使用したりしている。 こちらから、はがきやお手紙 を出す事を計画している。	併設の老健や通所リハビリ で馴染みのあった方、ご近 所の方等交流がもてるよう していたが、現在は感染対策 のため行っていない。アルバ ムを持ってきていただいた り、電話使用したりしている。 こちらから、はがきやお手紙 を出す事を計画している。	入居前の施設利用で馴染みにな った方との交流や、知人、親せ き、学校の先生の訪問等も支援 してきたが、現在は中断してい る。また、家族の協力を得ながら の行きつけの理美容室利用、法 事、お彼岸詣り、自宅への一時 帰宅等のなどの外出もあつた が、これらも中断している。しか し、これまでの関係継続のため に様々な支援が工夫されている。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活の中で、また行事の準備等で役割を持ち支え合うように支援している。	生活の中で、また行事の準備等で役割を持ち支え合うように支援している。	生活の中で、また行事の準備等で役割を持ち支え合うように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等に今まで通りに対応している。その後もフォロー出来るように支援している。	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等に今まで通りに対応している。その後もフォロー出来るように支援している。	入院や他事業所に移られた後も家族様からのお尋ね等に今まで通りに対応している。その後もフォロー出来るように支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの作成時、また見直しをする時にはその都度本人の希望を確認している。趣味趣向にも個別に対応している。本人様への確認が困難な時は家族様に聞くようにしている	ケアプランの作成時、また見直しをする時にはその都度本人の希望を確認している。趣味趣向にも個別に対応している。本人様への確認が困難な時は家族様に聞くようにしている	ケアプランの作成時、また見直しをする時にはその都度本人の希望を確認している。趣味趣向にも個別に対応している。本人様への確認が困難な時は家族様に聞くようにしている	入居にあたっての諸情報を確認している。入居後は、各利用者に担当者をおき、信頼関係を築き、ちょっとした利用者の行動、表情の変化、つぶやき等の細かいところまで把握して、本人の心情を推し測っている。利用者の思いは職員の共有事項である。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報提供書の確認はもちろんの事、在宅から入居の場合は事前に訪問し、病院施設からの場合も事前に訪問して、これまでの暮らしの把握に努めている。	入居時の情報提供書の確認はもちろんの事、在宅から入居の場合は事前に訪問し、病院施設からの場合も事前に訪問して、これまでの暮らしの把握に努めている。	入居時の情報提供書の確認はもちろんの事、在宅から入居の場合は事前に訪問し、病院施設からの場合も事前に訪問して、これまでの暮らしの把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価につなげている。	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価につなげている。	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価につなげている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議には必ず本人、家族、主治医、看護師担当介護士、ケアマネが参加し意見交換をしプランに反映させている。	サービス担当者会議には必ず本人、家族、主治医、看護師担当介護士、ケアマネが参加し意見交換をしプランに反映させている。	サービス担当者会議には必ず本人、家族、主治医、看護師担当介護士、ケアマネが参加し意見交換をしプランに反映させている。	利用者と家族の暮らしに対する意向や希望がサービス計画に具体的に反映されている。利用者主体の介護計画である。担当者会議は家族が出席出来る期日と時間帯に開催し、家族が必ず出席出来るように配慮している。また薬剤師も参加し、まさにチームで作成した計画である。介護計画の見直しも、随時、または定期的にきちんと行われてる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価につなげている。	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価につなげている。	ケースの記録やモニタリングを行う事でその方の状態把握評価につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	食事は食形態、栄養補助食品嗜好に随時対応できる。受診時の送迎、リハビリ専門スタッフのアドバイス等柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。	食事は食形態、栄養補助食品嗜好に随時対応できる。受診時の送迎、リハビリ専門スタッフのアドバイス等柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。	食事は食形態、栄養補助食品嗜好に随時対応できる。受診時の送迎、リハビリ専門スタッフのアドバイス等柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴ボランティア、地元消防団、民生委員、自治会長さんらの協力を得ている	傾聴ボランティア、地元消防団、民生委員、自治会長さんらの協力を得ている	傾聴ボランティア、地元消防団、民生委員、自治会長さんらの協力を得ている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は本人や家族様に決めてもらっている。他科の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している	主治医は本人や家族様に決めてもらっている。他科の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している	主治医は本人や家族様に決めてもらっている。他科の主治医も受け入れている。緊急時の対応も主治医と連携を持ち対応している	利用者や家族が希望する病院での受診である。毎週2回の主治医の訪問診療、月2回の院長回診、歯科医の月2回の訪問診察が行われている。週に3日の歯科衛生士による口腔ケアも行われている。緊急時の受診も含め、手厚い支援体制は、利用者や家族の安心感となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師が1名おり、情報の共有化、健康管理、医療連携を行っている。	常勤の看護師が1名おり、情報の共有化、健康管理、医療連携を行っている。	常勤の看護師が1名おり、情報の共有化、健康管理、医療連携を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療連携室の方や病院の連絡担当の方と連携を密にとっている。	入院先の医療連携室の方や病院の連絡担当の方と連携を密にとっている。	入院先の医療連携室の方や病院の連絡担当の方と連携を密にとっている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時のサービス担当者会議の時、主治医より説明を行っている。状態悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時のサービス担当者会議の時、主治医より説明を行っている。状態悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	入居時のサービス担当者会議の時、主治医より説明を行っている。状態悪化した時も主治医の判断により随時会議を行っている。	細部にわたって検討した「指針」を基にして、利用開始にあたって納得のいく話し合いがもたれている。終の棲家として看取り介護を希望される家族もあり、最期を見送った事例も多い。その際は家族の意思を確認し、関係者が緊密に連携し、家族の泊まりや付き添いも可能で、自宅での最期と変わらぬような支援である。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルを作成しており、対応している。	急変時の対応マニュアルを作成しており、対応している。	急変時の対応マニュアルを作成しており、対応している。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練を行っている。	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練を行っている。	月に1回の訓練を併設施設と共に行っている。年2回の法定防災訓練を行っている。	消防計画により、消防署の指導も受けながらの夜間想定避難訓練が事業所独自に行われている。水害、地震等の対応マニュアルも備えている。非常用の食料、飲料水も備えている。停電に備えた自家発電装置もある。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損なわない対応を徹底している。個人情報保護法についての勉強会等、併設施設と共に行っている。	プライバシーを損なわない対応を徹底している。個人情報保護法についての勉強会等、併設施設と共に行っている。	プライバシーを損なわない対応を徹底している。個人情報保護法についての勉強会等、併設施設と共に行っている。	利用者の尊厳を尊重することを諸支援の基盤にしている。本年は特に「すべての職員が利用者一人ひとりの人権を尊重した声かけ」を目標にしている。アセスメントで利用者をよく知り、よく理解し、その方に合った接し方に留意しての支援である。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定 日常生活の中で本人が思いや希望を 表したり、自己決定できるように働 きかけている	本人様の能力に応じた声かけ説明 を行い、気持ちを出してくれるよう 時間をかけて対応している	本人様の能力に応じた声かけ説明 を行い、気持ちを出してくれるよう 時間をかけて対応している	本人様の能力に応じた声かけ説明 を行い、気持ちを出してくれるよう 時間をかけて対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大 切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援 している	活動の種類を増やし、好きな活 動へ参加して頂いている。その日 の体調や気分によって参加のお誘 いも無理強いないようしている。	活動の種類を増やし、好きな活 動へ参加して頂いている。その日 の体調や気分によって参加のお誘 いも無理強いないようしている。	活動の種類を増やし、好きな活 動へ参加して頂いている。その日 の体調や気分によって参加のお誘 いも無理強いないようしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃ れができるように支援している	理美容の提供、爪切りや髭剃り のケア。洋服は本人様に選んで 頂いている。	理美容の提供、爪切りや髭剃り のケア。洋服は本人様に選んで 頂いている。	理美容の提供、爪切りや髭剃り のケア。洋服は本人様に選んで 頂いている。		
40 (15)		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、 一人ひとりの好みや力を活かしな がら、利用者と職員と一緒に準備 や食事、片付けをしている	お米とぎやネギ切り、後かた づけ、能力に応じて職員と一緒 に行っている。行事の時はおやつ 作りを一緒に、楽しんでいる。	お米とぎやネギ切り、後かた づけ、能力に応じて職員と一緒 に行っている。行事の時はおやつ 作りを一緒に、楽しんでいる。	お米とぎやネギ切り、後かた づけ、能力に応じて職員と一緒 に行っている。行事の時はおやつ 作りを一緒に、楽しんでいる。	食材は業者に依頼し、高齢者向 きの食事が用意されている。管 理栄養士による献立である。ご 飯と汁ものはホームの台所で調 理している。ミキサー食利用者の 一品でも形のあるものを食べた いと要望にも応えている。箸と 茶碗は各個人で用意した物であ る。食卓の席は、感染防止を考 慮した配置になっている。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の管理栄養士が作成する献立を利用し、カロリー摂取量、水分量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている。	併設の管理栄養士が作成する献立を利用し、カロリー摂取量、水分量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている。	併設の管理栄養士が作成する献立を利用し、カロリー摂取量、水分量を提供している。食形態、食器の種類も多く、能力に応じて対応できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。歯科衛生士の指導も受けている	毎食後口腔ケアを行っている。歯科衛生士の指導も受けている	毎食後口腔ケアを行っている。歯科衛生士の指導も受けている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用い、一人一人の排泄パターンを把握し支援している。	排泄チェック表を用い、一人一人の排泄パターンを把握し支援している。	排泄チェック表を用い、一人一人の排泄パターンを把握し支援している。	昼間はユニットでのトイレ、夜間は各居室でのトイレ使用を支援している。気持ち良く排泄したり、安心して夜間睡眠ができるようにと、一人ひとりに合わせての統一した支援である。生活習慣のリズムが整うに従って排泄が良い習慣に向かったり、オムツの方が排泄の自立傾向になった利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。	食事の摂取量、水分量、内服薬を把握し、原因を理解するようにしている。また主治医に相談し指示を受けている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本は週3回と決めているが希望があれば、時間をずらしたりして個々に合わせて対応している。	基本は週3回と決めているが希望があれば、時間をずらしたりして個々に合わせて対応している。	基本は週3回と決めているが希望があれば、時間をずらしたりして個々に合わせて対応している。	広い浴槽に利用者2、3人が一緒に入浴しての支援である。利用者の入浴希望に応じながら、身体を清潔に保つことを主体にしている。シャワー利用もあるが、出来るだけ湯ぶねにゆっくりと入浴してもらっている。利用者の状況によっては隣接の老健施設での入浴も支援していたが、今は感染症防止のため利用していない。冬場はヒートショックにも十分に留意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを整え夜間はゆっくり安眠できるよう支援している。一人一人に応じて、午前午後1時間横になる時間を作ったり、夜間居室で寝ない方は、ソファに寝てもらうなどしている	生活リズムを整え夜間はゆっくり安眠できるよう支援している。一人一人に応じて、午前午後1時間横になる時間を作ったり、夜間居室で寝ない方は、ソファに寝てもらうなどしている	生活リズムを整え夜間はゆっくり安眠できるよう支援している。一人一人に応じて、午前午後1時間横になる時間を作ったり、夜間居室で寝ない方は、ソファに寝てもらうなどしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服マニュアルを実施し内服支援している。内服変更時には申し送り状態観察と記録の徹底的に努めている。	内服マニュアルを実施し内服支援している。内服変更時には申し送り状態観察と記録の徹底的に努めている。	内服マニュアルを実施し内服支援している。内服変更時には申し送り状態観察と記録の徹底的に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ケアプランの作成時、アセスメントを行い、活動を選択している。仕事や趣味、得意不得意等考慮して。お一人お一人に適した役割を持っていただくようにしている。	ケアプランの作成時、アセスメントを行い、活動を選択している。仕事や趣味、得意不得意等考慮して。お一人お一人に適した役割を持っていただくようにしている。	ケアプランの作成時、アセスメントを行い、活動を選択している。仕事や趣味、得意不得意等考慮して。お一人お一人に適した役割を持っていただくようにしている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人や家族の希望による外出の支援や季節ごとに景色を楽しむための外出支援を行っている。(現在は新型コロナウイルス感染防止のため制限をかけている)	本人や家族の希望による外出の支援や季節ごとに景色を楽しむための外出支援を行っている。(現在は新型コロナウイルス感染防止のため制限をかけている)	本人や家族の希望による外出の支援や季節ごとに景色を楽しむための外出支援を行っている。(現在は新型コロナウイルス感染防止のため制限をかけている)	事業所内の中庭を散歩したり、外気浴で新鮮な空気を体感している。ホーム周辺の農道を散歩、近くの観音様へのお詣り、コスモス園やひまわり園、金立公園までのドライブもあったが、現在は新型コロナウイルス感染防止のため、実現出来ないのは残念である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自販機やコンビニでの買い物に付き添い支援をしている	自販機やコンビニでの買い物に付き添い支援をしている	自販機やコンビニでの買い物に付き添い支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持つことへの制限は行っていない。管理ができない場合は職員が預かって対応している。家族へ電話をかけて欲しいと訴えがある時はすぐに対応している。	携帯電話を持つことへの制限は行っていない。管理ができない場合は職員が預かって対応している。家族へ電話をかけて欲しいと訴えがある時はすぐに対応している。	携帯電話を持つことへの制限は行っていない。管理ができない場合は職員が預かって対応している。家族へ電話をかけて欲しいと訴えがある時はすぐに対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく過ごせるように証明や室温に考慮している。臭いに対しては消臭委員会をもうけており、対応している。1年中花は欠かさず生活に潤いをもたせている。	居心地よく過ごせるように証明や室温に考慮している。臭いに対しては消臭委員会をもうけており、対応している。1年中花は欠かさず生活に潤いをもたせている。	居心地よく過ごせるように証明や室温に考慮している。臭いに対しては消臭委員会をもうけており、対応している。1年中花は欠かさず生活に潤いをもたせている。	居間、利用者が一緒に過ごす時間が長いリビングは明るくて広い。室温も快適に保たれている。感染症防止のため、ソファやテーブルの位置を工夫している。また、換気にも十分に留意している。どの空間も清掃が行き届き、清潔感がある。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い空間にソファを置き気の合う仲で楽しく過ごしてもらい一人になってもテレビや音楽鑑賞等出来るようにしている	広い空間にソファを置き気の合う仲で楽しく過ごしてもらい一人になってもテレビや音楽鑑賞等出来るようにしている	広い空間にソファを置き気の合う仲で楽しく過ごしてもらい一人になってもテレビや音楽鑑賞等出来るようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除はもちろんの事、家で使い慣れていたものなど持ってきて頂き使用している	掃除はもちろんの事、家で使い慣れていたものなど持ってきて頂き使用している	掃除はもちろんの事、家で使い慣れていたものなど持ってきて頂き使用している	家族の協力を得ながらの居室環境である。こたつ、テレビ、整理たんす、湯呑み、アルバム、毛布や枕、その他利用者がこれまで馴染んできた物やお気に入りの道具など、これまでの家庭での生活がしのばれ、落ち着いて過ごせる各居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はしてもらい、能力を生かしてもらうように支援している。出来るだけ自立した生活が送れるよう手すりや食器等に工夫している。	出来る事はしてもらい、能力を生かしてもらうように支援している。出来るだけ自立した生活が送れるよう手すりや食器等に工夫している。	出来る事はしてもらい、能力を生かしてもらうように支援している。出来るだけ自立した生活が送れるよう手すりや食器等に工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印をつけてください			
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
					2. 利用者の2/3くらいの
					3. 利用者の1/3くらいの
					4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	○	1. 毎日ある
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまにある
					4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない

項目		取り組みの成果			↓該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	○	1. ほぼ全ての家族と
					2. 家族の2/3くらいと
					3. 家族の1/3くらいと
					4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	○	1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまに
					4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	○	1. 大いに増えている
					2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	○	1. ほぼ全ての職員が
					2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどいない